

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分  
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)  
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005  
 E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp  
 URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 三原慎也  
 副 会 長 : 野田三津雄  
 幹 事 : 西村 肇  
 公共イメージ : 松森 薫  
 会報担当者 : 田中義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウイーンズ フェリー ロータークラブ・スコットランド)

2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2859 回 令和 6 年 2 月 15 日 第 3 木曜日  
 ロータリー理解 野田三津雄会員

<次回の予定>

第 2861 回 令和 6 年 2 月 29 日 第 5 木曜日  
 外来卓話 郡上警察署 次長 吉川 徹様

<前回の記録>

第 2858 回 令和 6 年 2 月 8 日 木曜日  
 会員卓話 西川 昇会員  
 坂本 仁会員

司 会 進 行 竹内巧治副 SAA

点 鐘 三原慎也会長

ソ ン グ 我等の生業

ポール・ハリス・フェロー認証状、ピン授与

- ・ポール・ハリス・フェロー 1 名  
 國田大雄会員



- ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1 名  
 前田伊三夫会員

出席報告 森下 光出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
37 名	26 名	4 名	30 名	81.1%

ニコBOX 國田大雄ニコ BOX 担当責任者

- ・本日の会員卓話 西川さん、坂本さん 宜しくお願  
 います。 三原慎也
- ・会員卓話楽しみにしております。 西村 肇
- ・本日は宜しくお願います。 西川 昇

- ・拙い話になりますが聴いて下さい。 坂本 仁
- ・初めての PHF です。次を目指します。 國田大雄
- ・西川会員、坂本会員の卓話楽しみにしております。  
 遠藤一史・平岩憲政・廣瀬泰輔・細江洋司  
 岩尾 誠・河合 修・國田大雄・松森 薫  
 水上成樹・森下 光・村井裕孝・長尾信幸  
 永瀬和郎・小笠原正道・大川達也・酒井智義  
 霜野賢一・竹内巧治・田中義久・渡邊 剛  
 徐 飛・山下友幸

幹事報告 西村 肇幹事

- ・ロータリーの友事務所より 2024-25 年度ロータリー  
 一手帳お買い上げのお願い
- ・郡上市より郡上市合併・市制施行二十周年記念式  
 典のご案内
- ・可児 RC より例会変更のご案内

委員会報告 竹内巧治会員

- ・今月の IDM のお知らせ

会長の時間 三原慎也会長



皆さん、こんにちは。先週、2 名  
 の推薦者が出ました。理事会にて承  
 認されましたので発表します。異議  
 申し立てのある方は 1 週間以内にお  
 願いします。

先週少し二十四節気のことをお話ししましたが、  
 これを決めるのは国立天文台だということをお話  
 させさせて頂きました。大寒が最も寒さが厳しい時

期ということで二十四節気の中に入っております。今年の期間は、1月20日から2月3日までが大寒で4日から立春ということです。暦の上では立春から春になるということで、一年の中で一番寒い時期が終わると春になるということです。昔、節分の2月3日は冬なのか春なのか分からなくて考えたことあるんですが、調べたら2月3日は大寒の中に入ってるらしくて2月3日は冬でした。昔から、寒の水は腐らないということ言われてまして、うちでも昔は八幡にあった味噌屋さんからもろみを買ってきて、樽の中にそれと塩と水を入れてほぼ毎日混ぜながら、だいたい半年、夏を越すと味噌として食べられるようになり、一年経つ冬頃になると旨味も増して色もだいぶ黒くなって、いわゆる郡上味噌を家で作っていました。その八幡の味噌屋さんがなくなって、今は白鳥の味噌屋さんからもろみを買っているんですが、そこは最初から塩が入っているので、樽に水とその素を入れて、最初は固いですが、混ぜて一年か一年半経つと美味しい味噌になります。以前は母親がそれをしたんですけど、どうも今年ぐらいから私の仕事になってきましたので、頑張っって美味しい味噌を作っていきたいと思います。それから、2月4日から立春で、八十八夜とか二百十日というのは、この立春から数えて何日目ということです。昔聞いた話によりますと、季節の中には年に3回か4回お天気定めといわれる日があるそうで、そのお天気定めの日のお天気が、その3か月後か4ヶ月後の天気によく似ているというお話でした。面白い話ですが、その話を聞いた方は今は亡くなっていますので、もう少し詳しく聞いておけばよかったなと思っています。

今日は西川君と坂本君の卓話です。この後宜しくをお願いします。

#### 会員卓話 西川 昇会員



皆さん、こんにちは。先ほどは、たくさんの方のニコBOX、誠にありがとうございました。久しぶりの卓話ということで、今日は何を話そうか考え、昨年の暮れにちょっと勉強したことがありまして、それを今日はお話しします。お手元に資料をお配りしましたが、この2サイクルエンジンについて簡単にお話しさせていただきます。

エンジンには4サイクルエンジンと2サイクルエンジンがありますが、これらの違いというのは、

吸気→圧縮→燃焼→排気と4工程で1回の爆発を行うのが4サイクルエンジンで、2サイクルエンジンは、吸気と圧縮→燃焼と排気という2工程で1回の爆発をする仕組みになっております。2サイクルエンジンの作動原理を簡単に説明しますと、ピストンが上昇して圧縮工程を行う際に、クランクシャフトが収まっているクランクケースの内部に発生する負圧、吸い込む力を利用して混合気を吸入します。2サイクルエンジンでは圧縮工程でピストンが上昇する際に、高気密なクランクケースの内部に発生する負圧を利用して混合気をクランクケースの内部に吸入し、圧縮後に爆発燃焼、ピストンがクランクケースの方向へ一気に下降することによってクランクケースの内部に生じる容積変化を利用して、クランクケース内部に吸入した混合気を掃気ポートからシリンダー内部へ圧送します。その時に、シリンダー内部には爆発燃焼工程で発生した排気ガスが充満しており、圧送されて掃気ポートから一気に排出される混合気の流速、気体の流れる勢いでシリンダー内部に充満している排気ガスを強制的に押し出す形で排出します。これらを順番にまとめると、第1工程ではシリンダー内部でピストンが上昇して圧縮工程を行うのと同時に、クランクケース内部では吸入工程を行います。第2工程では、爆発燃焼してピストンが下降する工程でシリンダー内部では混合気の充填と排気ガスの排出を行います。この2つの工程を繰り返すことによって、クランクシャフトを回転運動に変換させる仕組みになっております。2サイクルエンジンの長所は、小型で高出力が得られる。部品数が少なく軽い、構造が簡単。回転が滑らかである。エンジンを傾けた時に通常に使える。2サイクルエンジンの構造を見ると、排気ポートと吸気ポートがありますが、4サイクルエンジンの場合は、排気ポートに排気バルブがついていて、吸気ポートには吸気バルブがついていません。そして、クランクケースの中には潤滑油が入っているので、斜めになるとエンジンオイルがバルブを通じてシリンダーヘッドの方へ入ってしまいます。空気だと圧縮することができますが、液体の場合は圧縮することができないので、図面で見るとクランクシャフトが完全に壊れる可能性が高く、エンジンを破損するということになります。2サイクルエンジンが一番利用されているのはチェーンソーです。チェーンソーは斜めにして使っても全然大丈夫です。2サイクルエンジンが使われているのは、今言ったチェーンソーとか下刈り

機、エンジンポンプなど小型機器、モトクロス用バイクに使用されています。バイクですが、高出力で車体が軽いモトクロスが最適だということでした。50年ぐらい前に、ヤマハ発動機がオートグループ、スズキ自動車とCCIという、ツーサイクルエンジンの革命と言われる画期的な開発が行われました。ガソリンとオイルを別々のタンクに入れて、エンジンの負荷に応じて混合気が変わるというもので、燃料管理の解消、排気ガスの低減、カーボンの付着も少なくなり、故障が減りメンテナンスが楽になりました。普通、2サイクルエンジンの燃料は混合ガソリンで、混合比はガソリン25に対してオイルが1の25対1です。ガソリンと一緒にオイルも燃焼するので、排気ガスが多いということになります。排気ガスが多いと公害問題とかいろんな問題に広がります。でも、オイルが少ないとエンジンの焼き付きが非常に多くなり、エンジントラブルの発生に繋がりますので、混合気はできるだけ正規のものを使った方がいいと思います。2サイクルエンジンは燃費が非常に悪いのが短所です。燃料の問題ですが、長期保存する場合は抜いて下さい。また、エアクリーナーもこまめに掃除をしないと空気が入ってこないで、2サイクルの場合は特に調子が悪くなります。そして、混合気が濃いとカーボンの付着が多くなり、エンジンがかかりにくくなります。

ヤマハやスズキはいいものを開発したんですが、今の排ガス規制で2サイクルエンジンのバイクの製造が中止になっておりますので、これから新たなものを購入するのは大変難しいと思います。良質な中古車も減ってきていると思われまます。今後趣味や実益、投資目的として購入したら、もしかしたら十年後ぐらいにプレミアがつく可能性もあるので、ちょっと面白いんじゃないかと思っております。現在所有されている方は、オイルを定期的に足すことが2サイクルエンジンには非常に大事なので、オイル切れに伴うエンジンの焼き付きには十注意して下さい。ありがとうございました。

## 会員卓話 坂本 仁会員



私も久しぶりの卓話になります。何を話そうか考えて、趣味の話でもできればいいなと思ったんですが、僕の趣味は水草を水槽で育てたり、最近では塊根植物にはまり出して色々やっています。趣味の話はちょっと準備ができ

ていないので、今日はいつもの仕事の話などをしてきたいと思います。

10年前、50歳ぐらいの時に、いつも医師会の先生方と食事をする時に、これからどうなるんだろうという話をしていました。当時は、新臨床研修医制度という、いわゆる昔で言うインターンですが、それによって結構大きな病院に新卒の医者が集中してしまっていて、なかなかこういう過疎地には医者が来ないという状況でした。でもまあ5、6年もした誰か来るだろうなんて話をしてたんですが、結局10年経ちますがあまり状況は変わっていません。尚且つうちの病院でいえば、昔は大学の先生が一人常勤でいて、吉田先生と父と私で内科の常勤が4人いたんですけど、吉田先生はちょっとリタイアされていて、大学の先生も常勤は出せないということで内科の常勤は私1人です。大学の先生は週に4日くらいお手伝いに来てくれて、夜の当直は大学の先生が来てくれるので、夜はゆっくりできるようになりました。他の病院も、新しい先生が来たとか来るといったことはないという状況です。市民病院も、研修医の先生が来たりとかしてますが、早いと1年ぐらいで変わっていかれます。今、市民病院で働いてるドクターで郡上市に骨をうずめるだろうという先生は、郡上出身のドクターが2人、内科と外科にみえます。郡上の人と結婚した内科の先生がいるので、その先生方はずっといらっしゃると思うんですけど、その後今の院長先生含め次に来る先生がどんな人か、いつまでいてくれるのかっていうところが市民病院としては気掛かりなところなんです。他の診療所や白鳥の病院とか見ても、白鳥病院に関しては院長先生が自治医大出身で、自治医大の医者をいっぱい連れてきて今在宅医療を中心にやってみえますが、院長先生がリタイアしたらどうなるのかなとか、そんなこと考えていると心配になってきますが、今はなんとか頑張っています。私は、祖父が初代の院長で私が三代目なんですけど、子供は医者になっていませんし、建物もちょうど50年で新しく病院を建て直すこともないですし、私の代で建物を使い切って上手に終わることができればいいかなと思っています。他のクリニックでも、ご子息がドクターになって帰ってきている診療所は、白鳥に1つ、八幡に1つと少ない状態で、クリニックも10年後にはどうなっているんだろうと考えてしまいます。私も10年後に70になるので、内視鏡が専門ですけど、今と同じパワーでやれるのか、やれないのか。皆さんのことでもあるので、

例えば70歳ぐらいの方が十年後80歳になった時に、パッと診てもらえる先生がいるのかなと、そこは本当に心配です。私自身が病気になった時に、誰が診てくれるのかなっていうところもあります。この間、新生児が200人を切ったという話をお聞きしましたが、子供はどんどん減ってきていて、お年寄りがどんどん増えています。私が郡上に帰ってきた20年前の入院患者さんの平均年齢がたぶん80歳ぐらいだったんですけど、もう今は90歳超えが当たり前で、今103歳の人も入院しています。その人たちにとっては今の医療でなんとかいけるとは思いますけど、10年後に郡上の医療がどうなっていて、郡上の中で医療が完結できるのか。救命救急の本当に急性期の対応はここでは無理だと思いますけど、その後の一般的な血圧とか糖尿病とか、そういうところを診てもらえる体制が整うのかなっていうことを凄く心配しています。ただ、人口も減っているんで、たぶん医者の数に関してはなんとかなるのかなって思っていますけど、郡上市内でも高齢者の施設、特別養護老人ホームとかグループホームなどがたくさんできていて、その人たちや在宅の方たちの日頃のケアをする訪問看護師さんとか介護職の方が、10年後いるのかなって思います。実際、現時点で医者が足りないというよりは、看護師さんと介護士さんが足りません。特に看護師さんに関しては、病院だと夜勤をする人の確保が大変で、入院患者さんを持っている病院はそれですごい苦勞されていると思います。看護職とか介護職は労働基準法で、最低限これだけの人数は必要だという人数が決まっています。数年後、それを満たすことが継続できるのかとても心配です。あと、在宅の高齢者の方が多いですが、ご子息は郡上になくて、何かあった時になかなか来れないし、話をするために連絡を付けるのもひと苦勞っていう家庭が多いので、そういう人たちが十分な介護や医療が受けられなくなる可能性がここ数年のうちに出てくるとは思っています。新年の挨拶の時にも言いましたが、介護職の人をなんとか確保できるようにしたいです。郡上市は、人口が減っていて面積が広いので、やはり手間がすごいかかるんです。密集した都会とは違うので、なんとか上手くやっていきたいなと思っていますが、人手がないことには上手くいかないんで、今できることをやっているという感じなんです。

それから、その延長線上として、どうやって死ぬかということも、最近60歳になったからという

わけではないですが、どこでどうやって死ぬのかなというのをちょっと考えたりしてます。私も亡くなる人をずっと見ているので、どこで死ぬのが家族に迷惑をかけずに一番いいのかなと、そんなことも考えています。皆さんも考えておいた方がいいと思います。昨日ちょうど、中濃病院の救命救急のセンター長の先生が、消防の関係で講演にみえて、こういう社会でどういう風に最後を看とあげるとか看取るとか、そんな話をお聴きしました。どういう風に最後を迎えるかっていうことはちょっと考えて、なんとなく周りには伝えておいた方が、子供や家族のためにはいいと思います。例えば私が70、80歳で病気になった時に、誰か診てくれる人を見つけないといけません。子供たちも多分郡上には帰ってこないんで、本当に考えます。郡上出身のドクターは結構いるので帰って来てくれるといいななんて思っています。私も父に帰ってこいって言われた時に、色々いいことばかり言われて左団扇でいけるかなと思ったら全然で、忙しいばかりでどこにも行けません、一応天職だと思っていますので、そこは自分で選んだ道なので頑張っていきたいと思っています。

拙い話をしましたがちょうど時間です。ありがとうございました。